

8月9日 1973

1975 Conference に関するメモ (経統季, 事務局 内部資料)

1. Feld → Toyoda (4月23日 '73)
2. 経統季 (6月24日)
3. Toyoda → Feld (7月5日)
4. Feld → Toyoda (7月11日)
5. 事務局会議 東京神田学生会館 (7月14日)
6. Tomonaga, Toyoda (7月30日)
7. Yukawa, Toyoda (8月1日)
8. 事務局会議 (在京中のものだけ) (8月8日)

以上の会合で出された意見を一応列記してみます。

- 1° 会議の性格 : 従来の Pugwash Conf. とは異なる。才上回 Pugwash Conf. と参考とする。もちろん Pugwash Conf. の経統季とは緊密な連絡をとり準備を進める。
- 2° 会議の目的 : 個人の資格で参加し、核時代を超えるための基本理念について討議し、これを内外に発表する。声明が^{こと}出せる^{こと}を期する
- 3° 会議の主題 : 1973年中に決定することを目途に検討を進めるがすでに話題に上っているものは
 - a) 核抑止論~~と~~概念の検討 (核抑止論批判)
 - b) 核時代の科学者のあり方 (基礎科学論) 548上
 - c) 分裂国家の問題 ~~核抑止論のあり方~~
 - d) 南米途上国のための重償の奉仕といかに実現するか等である

C082-004-003

- 4° 会議の規模 : 国内から15名, 海外から40名, 計 50名
- 5° 開催時期 : 1975年9月上旬 5日間
- 6° 開催場所 : 御殿場 東山荘
- 7° 海外からの招待者 : JASON の専事研究に commit している人は避ける。
 人選は こちらで定める。
 超大国以外の国からの参加に留意する。
 下記の人々に直接 invitation letter を出し, 趣旨に
 沿った ^(候補者の) 推薦として 蒙る ことある。

英	Peierls, Rotblat	中	Chou Pei Yan + 1
ソ	Kapiza, Marcos	ハイ	コンマ
米	Weisskopf, Feld	サイゴン	/
スウェーデン	Alfvén	カンボジア	/
ノルウェー	Wergeland, Eide	インド	Menon
オランダ	Casimir, Tolhoek	パキスタン	Salam
ドイツ	東西ドイツ アカデミー 会長 Mottet, Weizsäcker	バングラデシュ	/
フランス	/	セイロン	/
オースリア	/	タイ	/
スイス	/	ビルマ	/
ベルギー	/	マレーシア	/
イタリア	Amaldi, Cologero	フィリピン	/
北朝鮮	/	シンガポール	/
韓国	/	インドネシア	/
ポーランド	/	オーストラリア	/
	20	ニュージーランド	/
		アルゼンチン	Galsia
		ブラジル	1
		メキシコ	/
			20

7/12-7

カナダ
アフリカ

8° 国内からの参加者 : 10名内外とする。

科学者評議会及び勉強会参加者に自動的に
 参加できるようにするわけではなくて予め断っておく。

人選は Yukawa Tomonaga の責任で 1973 年中に
 大体めどをつける。

9° 予算 (概算)

費目	金額	備考
会場費	150,000 + α	
Hospitality	2,500,000	$10,000^A \times 50^A \times 5^B$
同時通訳費	1,000,000	$200,000^A \times 5^B$
タイピスト (3名)	150,000 500,000	$10,000^A \times 3^A \times 5^B$
秘書 (1名)	50,000	$10,000^A \times 5^B$
バス (羽田 ↔ 伊勢丹) 乗車	100,000	2台
バス (エクスカーション)	40,000	2台
事務局費	750,000	$10,000^A \times 15^A \times 5^B$
事務費	500,000	通信, 会合費
出版費	1,500,000	
予備費	2,960,000	インフレ 考慮 (年15%)
計	10,000,000	

- 10° 募金 : "参加" の問題 と十分考慮する。
会議の趣旨に十分賛同し、今後の活動に支障のないよう各
企業、財界と慎重に検討し リスト と作る。

試案

新聞	朝, 毎, 産経, 日経, 共同, 中国 (各500,000)	4,000,000 3,200,000
出版	岩波, 中公, 平凡, 講談, みすず (各400,000)	2,000,000
平和産業	松下電機 (財団が作られておれば非常にいいだろう) 西武, 小田急, 近鉄 (松下幸之助 ↔ Cyrus Entan?)	4,000,000
(万博協会)		
(原子力産業会議)		
		計 10,000,000

- ・ 募金委員会を作るかどうかは 検討とす。
 - ・ 募金を作る場合は 同委員が必ずしも参加者にはならないことと予め Yukawa Tomonaga から言っておいて頂く。 reception party には出て頂く。
- 11° 準備, 運営作業は 科学者京都会議事務局が行う。
- 12° 中国との接渉は Yukawa Tomonaga の "親書" とおって行うのが最善。
(中国側は両先生に ~~は~~ 絶大な尊敬と信頼をもっている — 野上)
- 13° 南登途上国 あるいは "小国" で 政府と余り関係をもたない参加者
に対しては 往復旅費を考慮した方がいいだろう (例えば アルゼンチンの
カルマ, オーストラリア 等)
- 14° 東山荘の予約は 来年 (1974年) 初めまでにする。
- 15° 基本方針, 役務分理は 1973年中に定める。
- 16° 取敢えず 準備費として 300,000円 程 適当なところから借入れる。

以上
(菅田礼)

Pugwash Conference 1975

JAPAN

Towards Axioms of Peace

Organized by Professor H. Yukawa and Professor S. Tomonaga

Agenda

1st day

Opening address Yukawa

Ethics of scientists in the nuclear age

Chinese attitude to science

Concept of deterrent

Role ^{and meanings} of fundamental sciences

2nd day

A way to nuclear disarmament

3rd day

Peace in Asia, problem of divided countries

Real aids to developing countries

4th day

(Excursion) Drafting work

5th day

Resolution or statement

Closing address Tomonaga